嫉妬妄想…

⇒「やさしく」が介護の基本です

【 認知症の人の状態 】

とよさと病院 認知症疾患医療センター

自分が相手に迷惑をかけてしまっているという負い目、見捨てられるのではないかという不安、自信のなさが背景にあります。

たとえば、ヘルパーの方に「きっと夫は私なんかより、しっかりしていて話し相手にもなるヘルパーさんの方がいいに違いない」⇒「本当に浮気している」と一度思い込んでしまったら、認知症の人にとってはそれが真実です。どんなに否定しても効果はありません。



嫉妬されるということは、それだけたくさん愛されている証拠で、「愛するあなたを失いたくない」という メッセージです。

【 対応方法 】

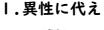
「介護者へ 愛あればこそ 嫉妬する」

- ①「違う」と否定したり呆れたりせずに、ご本人の気持ちに寄り添い、安心させるために、思いをしっかり聞いて、不安な気持ちに共感しましょう。
- ②手を握ったり、抱きしめたりするスキンシップもできるだけとりながら、 いっしょに過ごす時間をたくさん持ちましょう。
- ③介護者が本人を叱ることをやめてみましょう。

 ホームヘルパーが本人を たくさんほめて仲良くなる

被害妄想は、男性患者 さまよりも、女性患者 さまに多いです。 女性患者さまが、女性

女性患者さまが、女性 ホームヘルパーを夫の 浮気相手にすることが あります。









いいですね! すごいですね!

素敵ですね!

3.ホームヘルパーが来ているときはときは、夫が本人に寄り添う(スキンシップをしてあげればなおよい)

それでも症状が改善せずエスカレートしたり、暴言がでるようなときには、 適切な薬物療法が必要ですので、医療機関へご相談ください。

参考文献:認知症の人と家族の会,認知症になった家族との暮らしかた,ナツメ社,2018,P84-85 山口晴保,紙とペンでできる認知症診療術,協同医書出版社,2016,P207-208 2022.6作成